急性の多くを占めるタイプ

# 緑内障の遺伝子変異 解明

## 府立医大グループ 発症リスク診断期待

急性緑内障の多くを占める「原発閉塞隅角緑内障」の患者に多い遺伝子変異を、京都府立医科大の田代啓教授や木下茂教授らのグループが突き止めた。発症リスクの診断や治療薬の開発につながる成果で、英科学誌ネイチャー・ジェネティクスで5日発表する。

同疾患は、目の中を循環する水分が十分に排出されず、眼圧が高くなって発症する。日本人では40歳以上の0・6%が発症するとされる。

グループは、アジアや欧米の患者約1万人と、患者でない約3万人の遺伝子配列を比較し、患者に多い五つの新たな変異を見つけた。一つの変異があると発症率が1・2~1・3倍となり、複数あるとさらに高まる。これらの変異は、目の中を循環する水分の排出システムに関係するタンパク質の量を変化させるとみている。

グループは、緑内障では患者が最も多い「原発開放隅角緑内障」などの遺伝子変異の解析も行っている。田代教授は「血液から緑内障の発症リスクを簡単に調べられる検査キットの開発も進めており、予防的な治療である先制医療につなげたい」と話している。（松尾浩道）

京都新聞 2016年(平成28年)4月5日 火曜

# リコール倍増1900万台

## 15年度、最多更新 タカタ問題響く

国土交通省は4日、2015年度に届けられた自動車のリコールが1899万637台に上り、3年連続で過去最多を更新したと発表した。タカタ製エアバッグが異常破裂し、国内初のけが人が出たタカタ問題では、昨年10月に日産自動車でエアバッグが異常破裂し、国内初のけが人が出た。日産は31万

タカタ問題以外にも、キーをひねると作動するスイッチやエアコンのコンプレッサーに不具合があったとして、スズキが昨年4月に187万台、今年3月に計161万台をリコールしている。

国交省の担当者は、大規

# カツオと

漫画「サザエさ
町子さん（1920
に小学館の子ど
ために描いた漫画
139点が、4日ま
つかった。作品を
社社長室顧問の
「戦時中も、長谷
かに生きる人々の
とをうかがわせる

故長谷川さ

# 明るい

をする場面も描かれている。

翻訳家村岡花子が41年、「国民5年生」のために訳した「カンタベリー物語」に添えられた挿絵に、「長